



2019年12月期 第2四半期決算説明資料

シークス株式会社

2019年8月20日

INDEX

- **2019年12月期第2四半期 決算サマリー**
- **2019年12月期第2四半期 連結決算概要**
- **2019年12月期連結業績修正予想**
- **トピックス**
 - **NEV関連ビジネスの広がり**
 - **テクノロジーパートナーとのコラボレーション**
 - **顧客から増加する受注の傾向**
- **製造技術関連の取り組み**
- **株主還元**
- **ESG, SDGsに関する取組**

2019年Q2決算サマリー

- 貿易摩擦を発端とした景気減速による需要減少により、下半期の予想を見直し、通期ガイダンスの下方修正を行った。
- メキシコ工場のオペレーション改善は当初の想定通り進んでいる。
- 米中間関税影響については、物量の減少、早期の生産移管により、税率が高まったものの、年間ベースでは当初想定していた影響額にとどまる見込
- EV需要、非日系からの受注、商材の多様化により、受注は増加中

2019年12月期第2四半期 連結決算概要

連結決算概要

● 連結損益

(単位：百万円)	FY2018 上期		FY2019 上期		増減 (FY2018上期 対 FY2019上期)		為替 影響額	実質増減	
	金額	%	金額	%	金額	%		金額	%
売上高	119,928	100.0	113,743	100.0	△ 6,185	△ 5.2	△ 712	△ 5,473	△ 4.6
売上総利益	10,227	8.5	9,175	8.1	△ 1,051	△ 10.3			
販管費	5,847	4.9	6,052	5.3	205	3.5			
営業利益	4,379	3.7	3,123	2.7	△ 1,256	△ 28.7	0	△ 1,256	△ 28.7
経常利益	4,595	3.8	3,202	2.8	△ 1,393	△ 30.3			
特別損益	-	-	-	-	-	-			
法人税等	1,141	1.0	999	0.9	△ 143	△ 12.5			
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,463	2.9	2,234	2.0	△ 1,230	△ 35.5			

為替レート

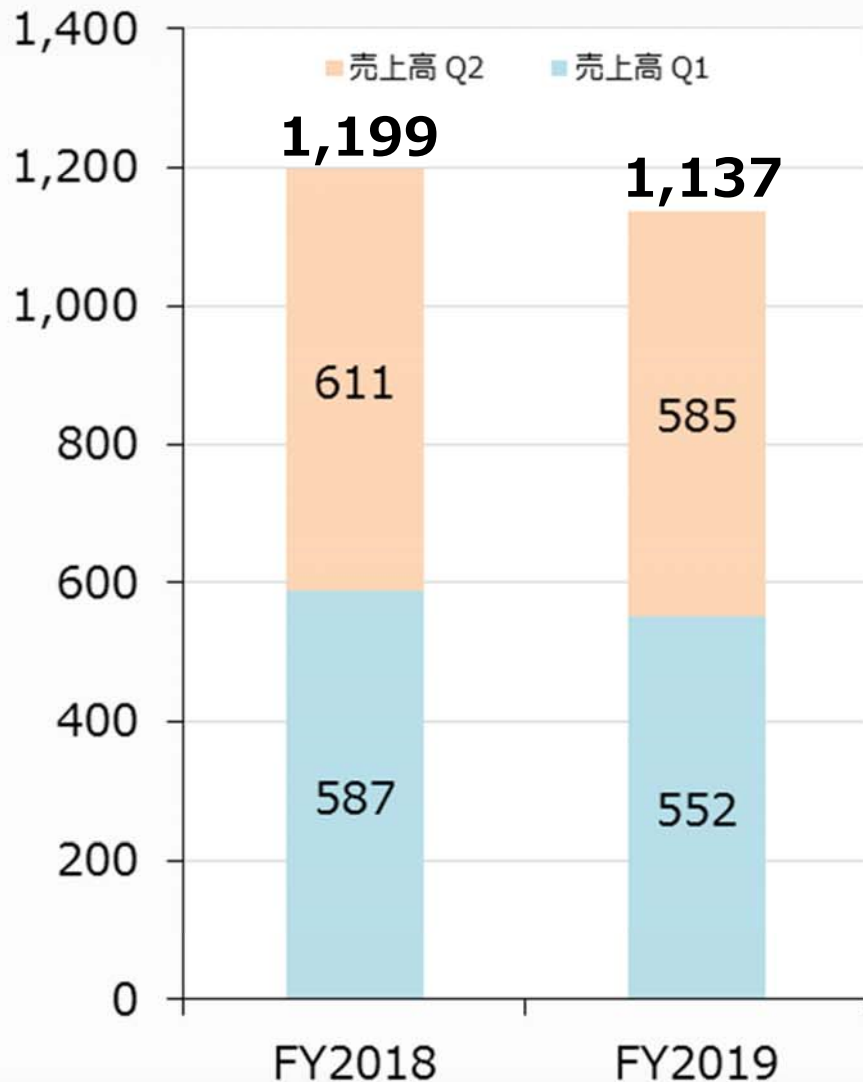
	2018年上期	2019年上期
USD	108.94	110.06
EUR	131.7	124.3
HKD	13.9	14.04
THB	3.43	3.48
RMB	17.09	16.19

● 連結の範囲

(単位：社)	'18/12	増減		'19/12
	第2四半期末	増加	減少	第2四半期末
連結子会社	22	-	-	22
持分法適用関連会社	2	-	-	2

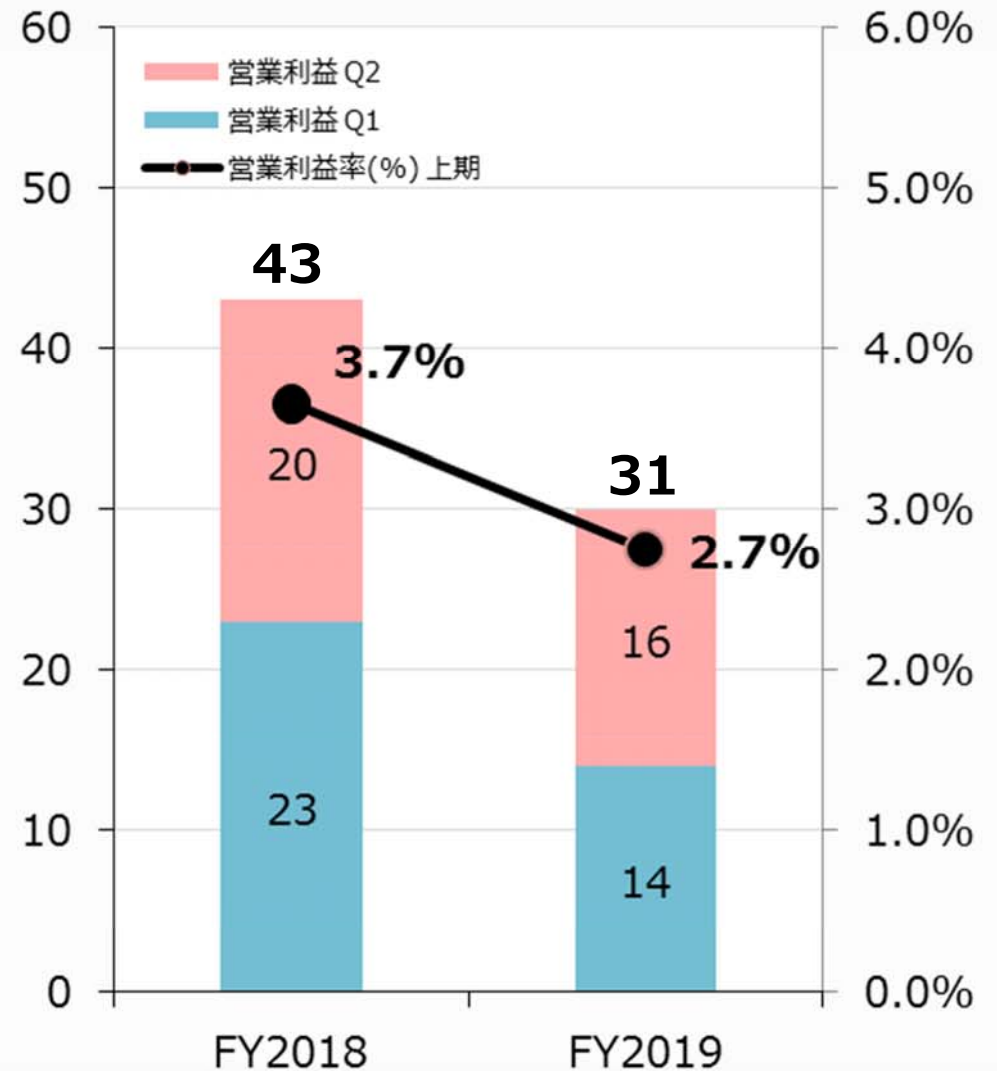
四半期別連結売上高・営業利益

● 連結売上高



● 連結営業利益

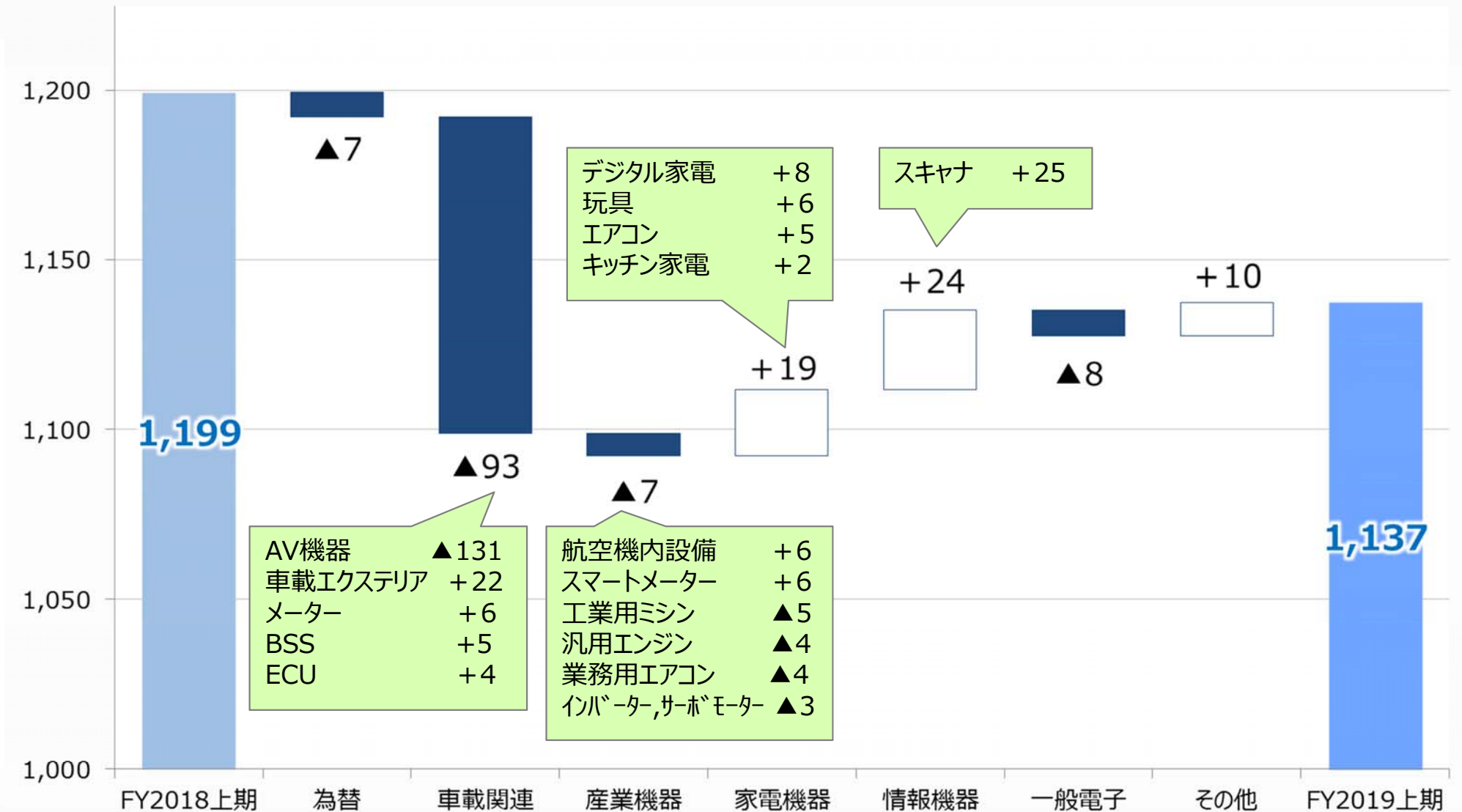
(単位:億円, %)



アプリケーション別売上高分析

2018年上期実績 vs. 2019年上期実績

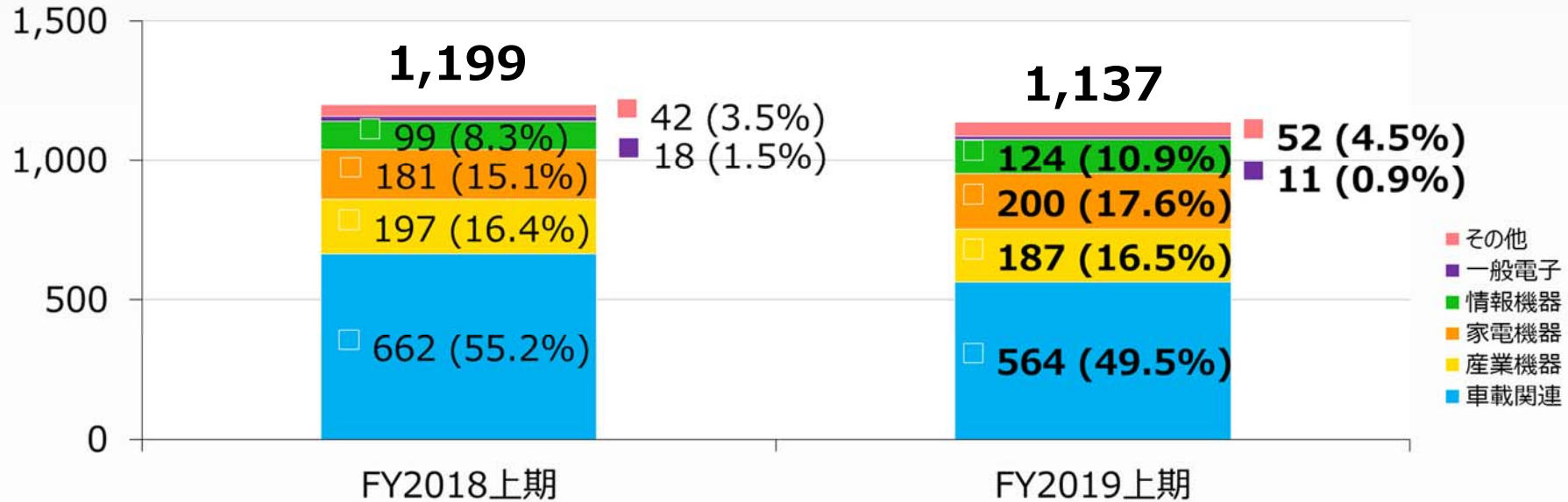
(単位:億円, %)



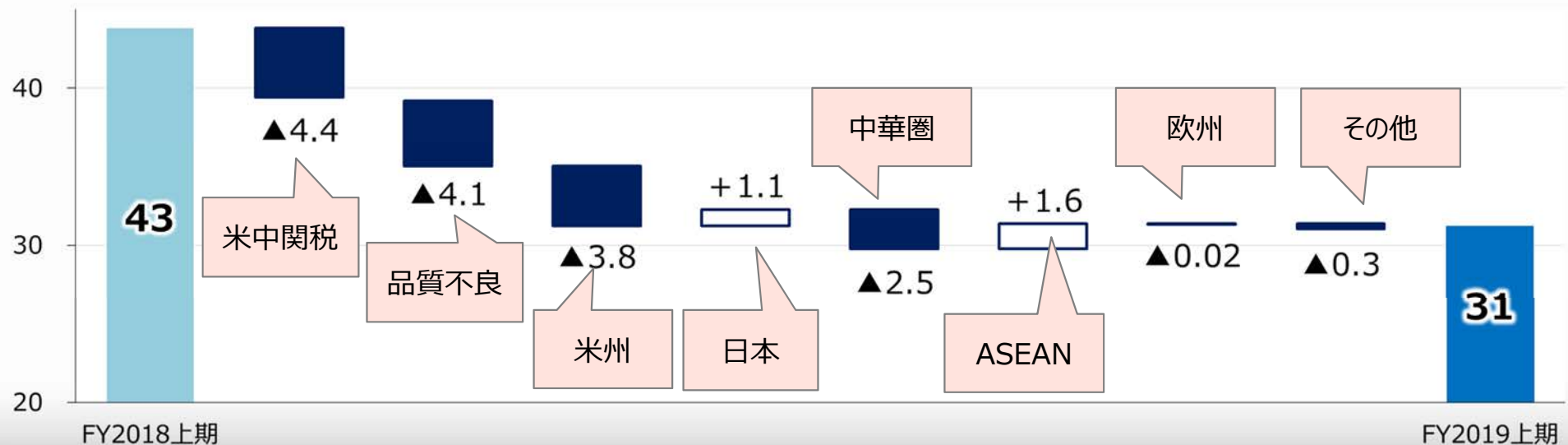
連結売上高・連結営業利益増減分析

● 連結売上高（2018年上期実績 vs. 2019年上期実績）

（単位：億円，％）



● 連結営業利益（2018年上期実績 vs. 2019年上期実績）



連結販売管理費

(単位：百万円)	FY2018	上期	FY2019	上期	増減	
	金額	売上比 (%)	金額	売上比 (%)	金額	率 (%)
人件費	3,176	2.6	3,296	2.9	119	3.8
旅費・通信費	227	0.2	233	0.2	6	2.6
運賃荷造費	659	0.5	619	0.5	△ 40	△ 6.0
支払手数料	365	0.3	372	0.3	6	1.7
賃借料	287	0.2	197	0.2	△ 91	△ 31.5
減価償却費	275	0.2	393	0.3	118	42.9
その他経費	855	0.7	941	0.8	86	10.0
販売管理費	5,847	4.9	6,052	5.3	205	3.5

連結営業外損益

(単位：百万円)	FY2018	上期	FY2019	上期
	受取利息		41	
受取配当金		37		29
持分法による投資利益		135		59
不動産賃貸料		53		53
その他		410		422
営業外収益		678		612
支払利息		128		238
為替差損		230		123
その他		103		170
営業外損失		462		533
営業外損益		215		78

連結貸借対照表

	FY2018 上期	FY2018 期末	FY2019 上期	増減 (FY2018上期 対 FY2019上期)		増減 (FY2018期末 対 FY2019上期)	
	(単位：百万円) 金額	金額	金額	金額	率 (%)	金額	率 (%)
流動資産	99,512	101,487	97,577	△ 1,935	△ 1.9	△ 3,910	△ 3.9
受取手形及び売掛金	45,967	38,936	38,730	△ 7,237	△ 15.7	△ 205	△ 0.5
たな卸資産	40,516	44,726	43,650	3,134	7.7	△ 1,076	△ 2.4
固定資産	33,646	35,863	41,316	7,670	22.8	5,453	15.2
資産合計	133,158	137,350	138,893	5,735	4.3	1,542	1.1
流動負債	59,875	63,595	61,221	1,346	2.2	△ 2,374	△ 3.7
買掛金	35,341	29,130	26,168	△ 9,173	△ 26.0	△ 2,962	△ 10.2
短期借入金	16,391	25,236	24,408	8,017	48.9	△ 828	△ 3.3
固定負債	15,326	17,738	21,348	6,022	39.3	3,610	20.3
新株予約権付社債	5,968	5,948	5,948	△ 20	△ 0.3	0	0.0
長期借入金	5,444	7,455	9,564	4,120	75.7	2,109	28.3
負債合計	75,202	81,334	82,570	7,368	9.8	1,236	1.5
純資産	57,956	56,016	56,323	△ 1,633	△ 2.8	307	0.5
(うち、非支配株主持分)	303	308	268	△ 35	△ 11.6	△ 41	△ 13.2
負債および資本合計	133,158	137,350	138,893	5,735	4.3	1,542	1.1

連結キャッシュフロー

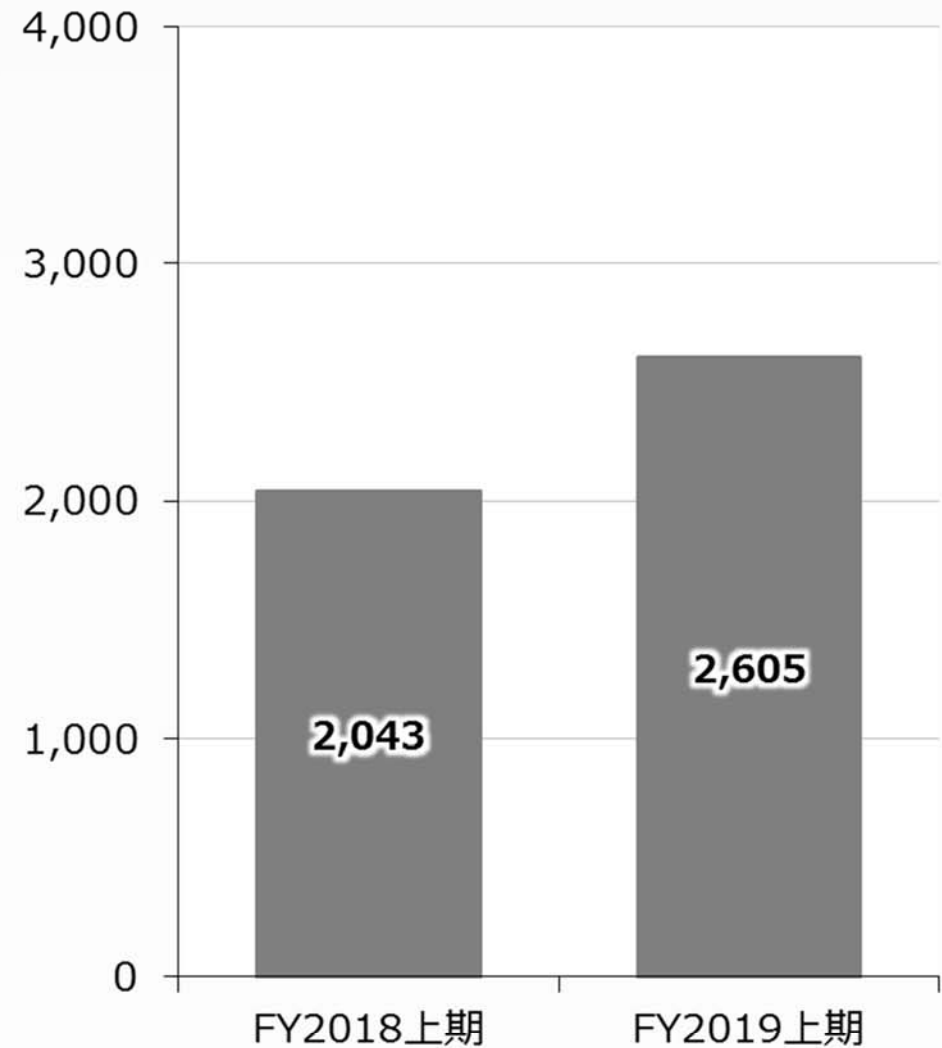
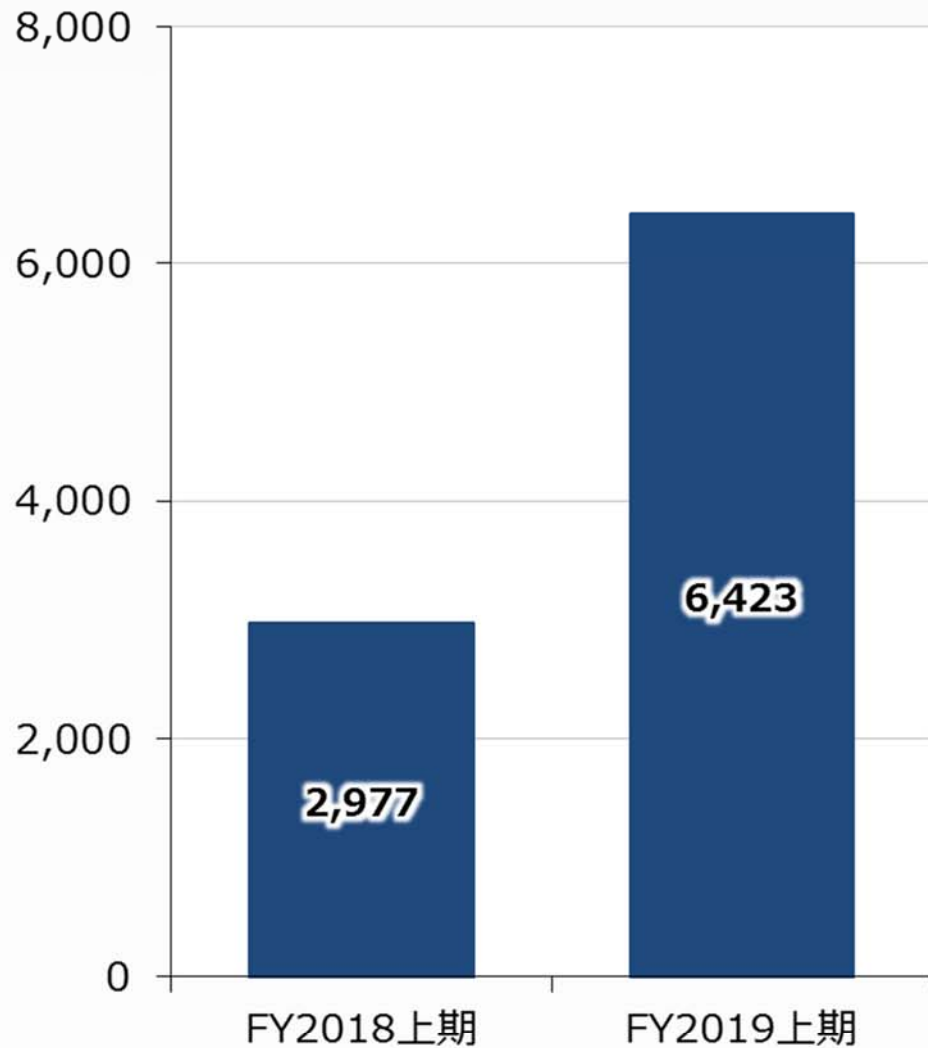
	FY2017	FY2018	FY2019	FY2017	FY2018
(単位：百万円)	上期	上期	上期	通期	通期
営業C/F	1,066	△ 1,135	1,139	4,536	966
投資C/F	△ 4,771	△ 2,880	△ 5,845	△ 9,211	△ 6,515
財務C/F	4,705	1,728	860	6,410	7,991
現金及び現金同等物	9,685	8,229	8,848	10,574	12,813
キャッシュフロー対 有利子負債比率（年）	-	-	-	3.4	27.2
インタレストカバレッジレシオ（倍）	12.1	-	5.9	20.1	3.2

設備投資・減価償却費

● 設備投資

● 減価償却費

(単位:百万円)



2019年12月期連結業績予想

2019年12月期 連結業績予想

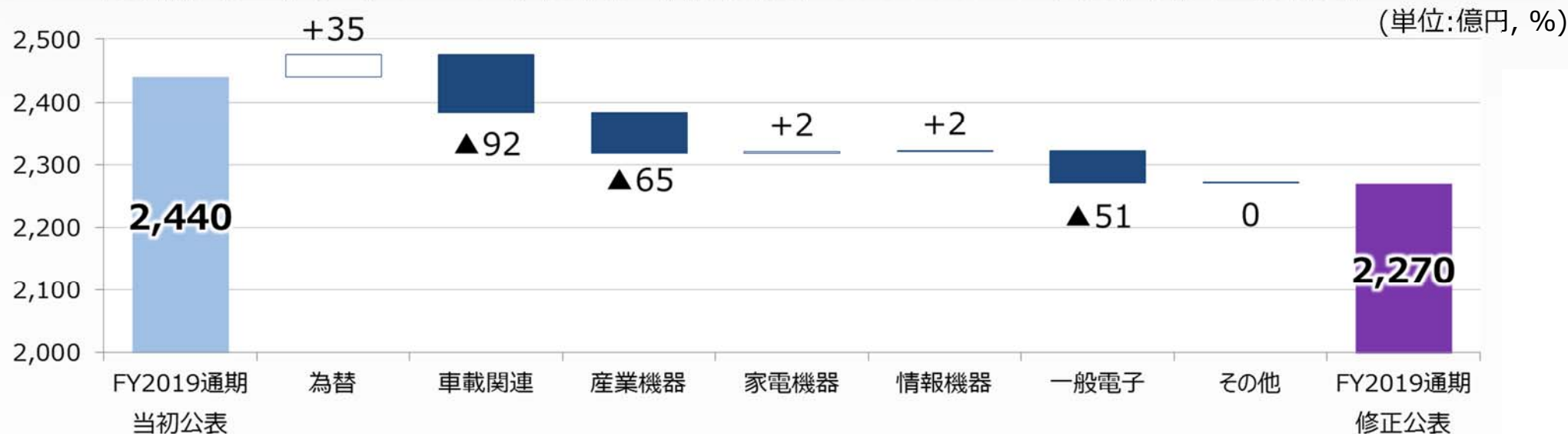
	FY2017 実績	FY2018 実績	FY2019 予想	増減 (FY2018 vs.FY2019)	
				金額	率 (%)
売上高	233,153	242,804	227,000	△ 15,804	△ 6.5
営業利益	9,705	8,625	6,800	△ 1,825	△ 21.2
経常利益	10,513	8,717	6,800	△ 1,917	△ 22.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,093	6,414	4,800	△ 1,615	△ 25.2
1株当たり当期純利益 ※	288円02銭	131円45銭	101円60銭	△ 29円85銭	△ 22.7

※2018年3月31日を基準日として1:2の割合で株式分割を行っており、2018年以降の1株当たり当期純利益予想は株式分割後の数値を表示しております。

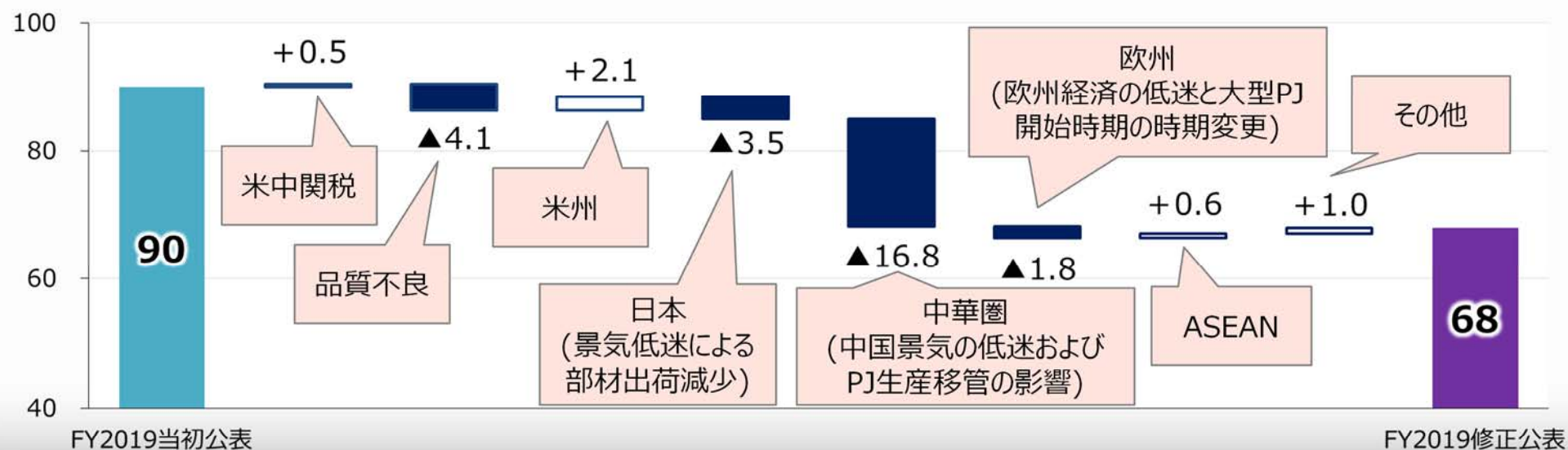
換算レート(USD)	¥ 112.34	¥ 110.58	¥ 107.00
------------	----------	----------	----------

連結売上高・連結営業利益増減分析

● 連結売上高（2019年通期当初公表 vs. 2019年通期修正公表）



● 連結営業利益（2019年通期当初公表 vs. 2019年通期修正公表）



中期経営計画達成のためのKPI

中期経営計画達成のためのKPI	2018年末	2019年Q2末
純新規顧客の獲得 2020年度までに新たに100社獲得 ～順調に獲得が進む～	→ 51社	→ 67社
非日系顧客への売上高比率 2020年度に連結売上高の20% ～非日系大手からの受注獲得～	→ 10.5%	→ 11.0%
非コモディティ分野（車載＋産業）の売上高比率 2020年度に連結売上高の80% ～ADAS, EV, IoTを軸に拡大～	→ 69.6%	→ 66.0%

最終年度（2020年）目標

連結売上高 3,000億円

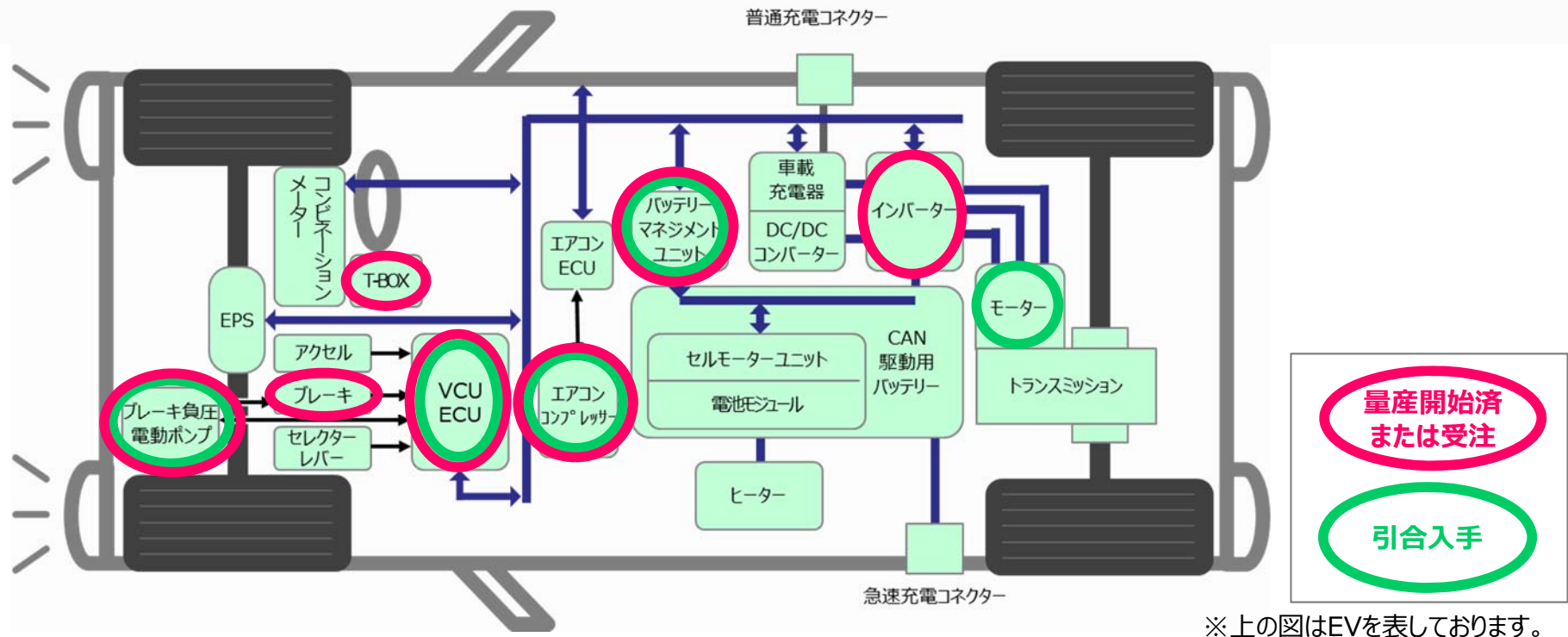
連結営業利益 140億円

*業績目標数値については、期末に見直し予定

トピックス

NEV関連ビジネスの広がり

バッテリー、コネクティッド、ADAS、次世代パワトレなどの分野の需要拡大が顕著



NEV関連ビジネスが世界各地で開始。
プレイヤーの変化にもアンテナを張りながら旺盛なニーズに対応する

制約を設けず幅広い事業分野の顧客層からビジネスを受注してきた実績

テクノロジーパートナーとのコラボレーション

～ニーズとシーズの最適な組み合わせを実現し提供する～



テクノロジーパートナー

シンガポール、インド、日本の
テクノロジーパートナー
(IRセンサー、レンズ、
レンズモジュール、
ソフトウェア開発)

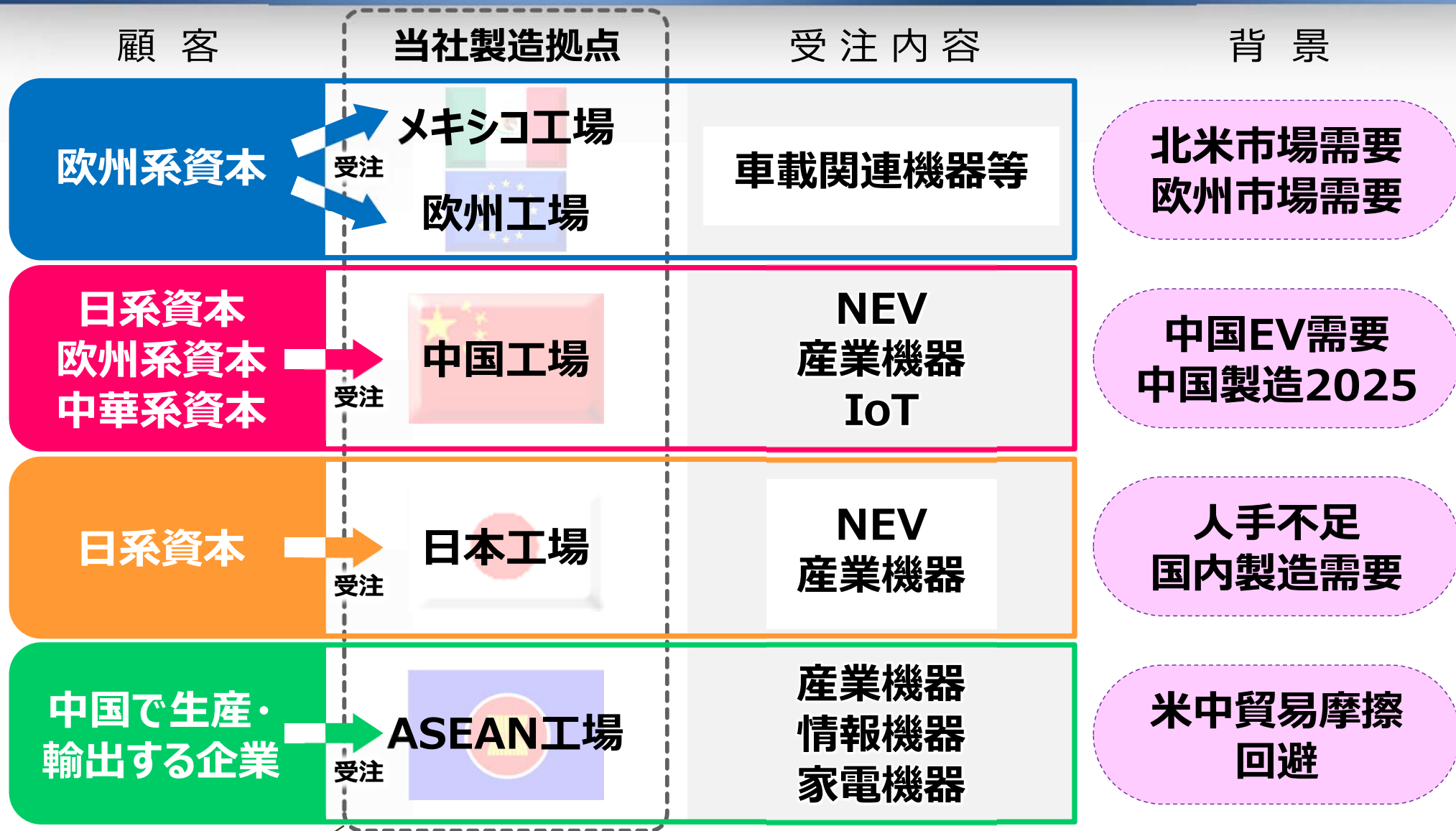


大手グローバル顧客製品へ紹介

家電機器 (高級アイロン)
車載機器 (カメラモジュール、
人感センサー)
産業機器 (読み取り用カメラ)

世界各地の新たなテクノロジーを量産へと結びつけていく

顧客から増加する受注の傾向



一国生産に伴う貿易摩擦を回避する観点でもグローバル分散生産ニーズは高まると考えられ、地産地消、世界同時立ち上げなどに対応してきた当社グローバルネットワークが更に有利となる。

製造技術関連の取り組み

中期経営計画 4つのテーマ

信
頼

1.収益力強化 (キーワード：ボーダレス化)

- **電子化の「ボーダレス化」への対応**
顧客企業の事業分野の壁が崩壊し、よりきめ細かく顧客ニーズや地域特性に重きを置いて攻める

2.対応力強化 (キーワード：モジュール化)

- **Non-EMSビジネスの拡大**
二次電池や成形ビジネスなど、EMSビジネスにこだわらず、電子化に伴う周辺ビジネスを強化

3.ものづくり力強化 (キーワード：技術力)

- **横串機能を基軸にした生産プラットフォームの整備・拡大とナレッジの活用技術強化**
顧客ニーズに対応した製造技術力の強化と品質強化

4.組織力強化 (キーワード：ESG)

- **ダイバーシティ、内部管理力の強化**
ローカル人材によるマネジメント推進、女性の活用、ブロック化の活用、在庫・仕損じの削減

ものづくり強化

✓ マルチプロセスに対応した製造技術力の強化

- ⇒ ・基板実装～組立～成形など顧客ニーズ対応力の強化
- ・更なる高密度・高精度実装要求への対応
- ・自動化技術の更なる強化と推進

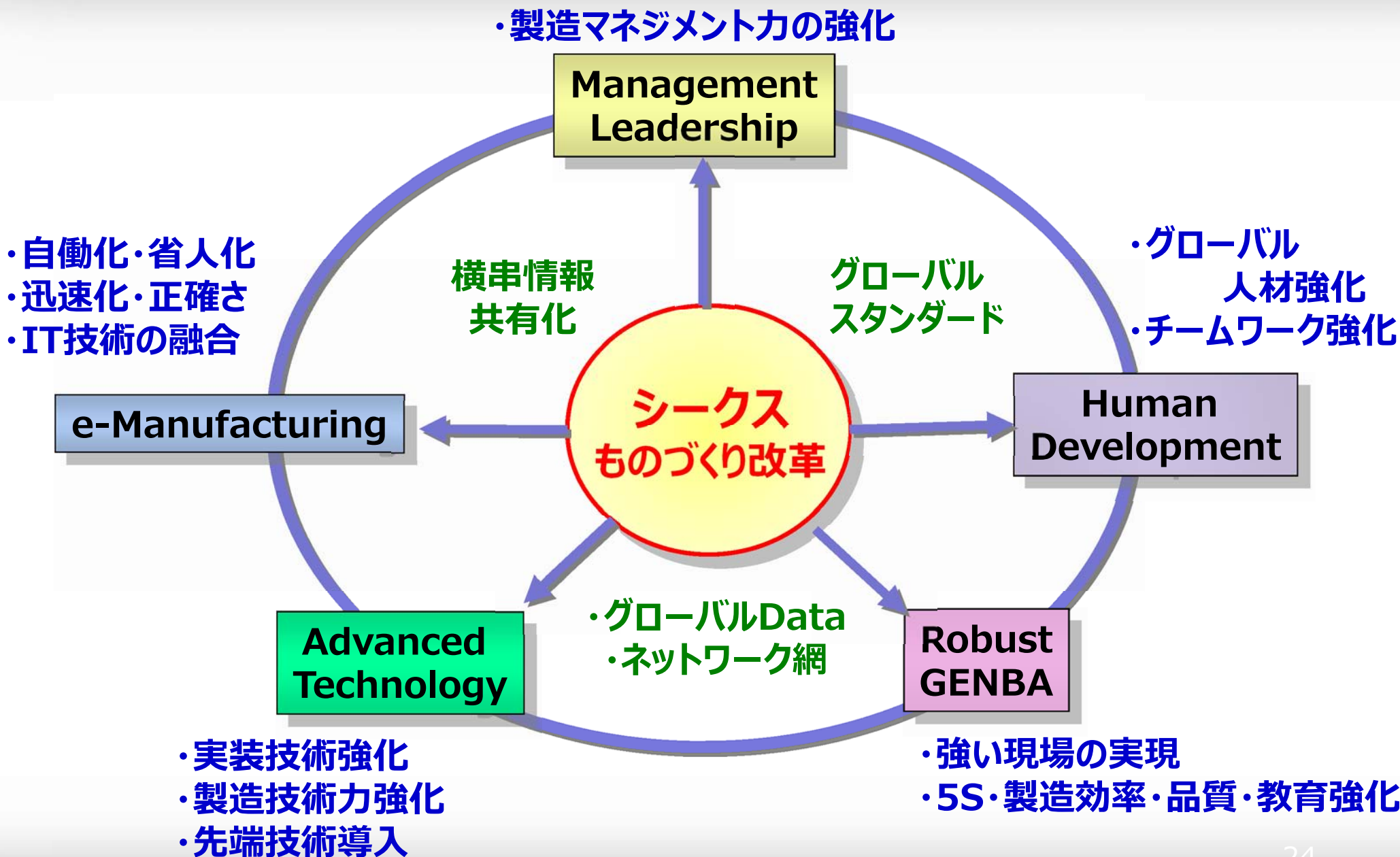
✓ 知的集約型ものづくりプラットフォームの確立と横串展開

- ⇒ ・製造・技術・品質情報の共有化と活用技術の強化

✓ 品質強化とQC/QCDテクニカルエキスパートの育成

- ⇒ ・グローバル支援できる人材の育成と強化
- ・シークスオリジナル監査プログラムによるEMS工場レベルの早期底上げとローカル人材スキルの強化

シークスものづくり強化戦略 重点施策



製造技術力強化とグループ技術統括部の役割

シークス製造・技術・品質の中核センター

グループ技術統括部 (日本・相模原)

品管管理・改善

標準化推進

実装・製造技術

工場支援

自動化推進

シークス製造拠点

SEI
インドネシア

SEK
インドネシア

SET
タイ

SHU
ハンガリー

SES
スロバキア

SEJ
日本

SED
中国・東莞

SJC
中国・上海

SHB
中国・湖北

SEM
メキシコ

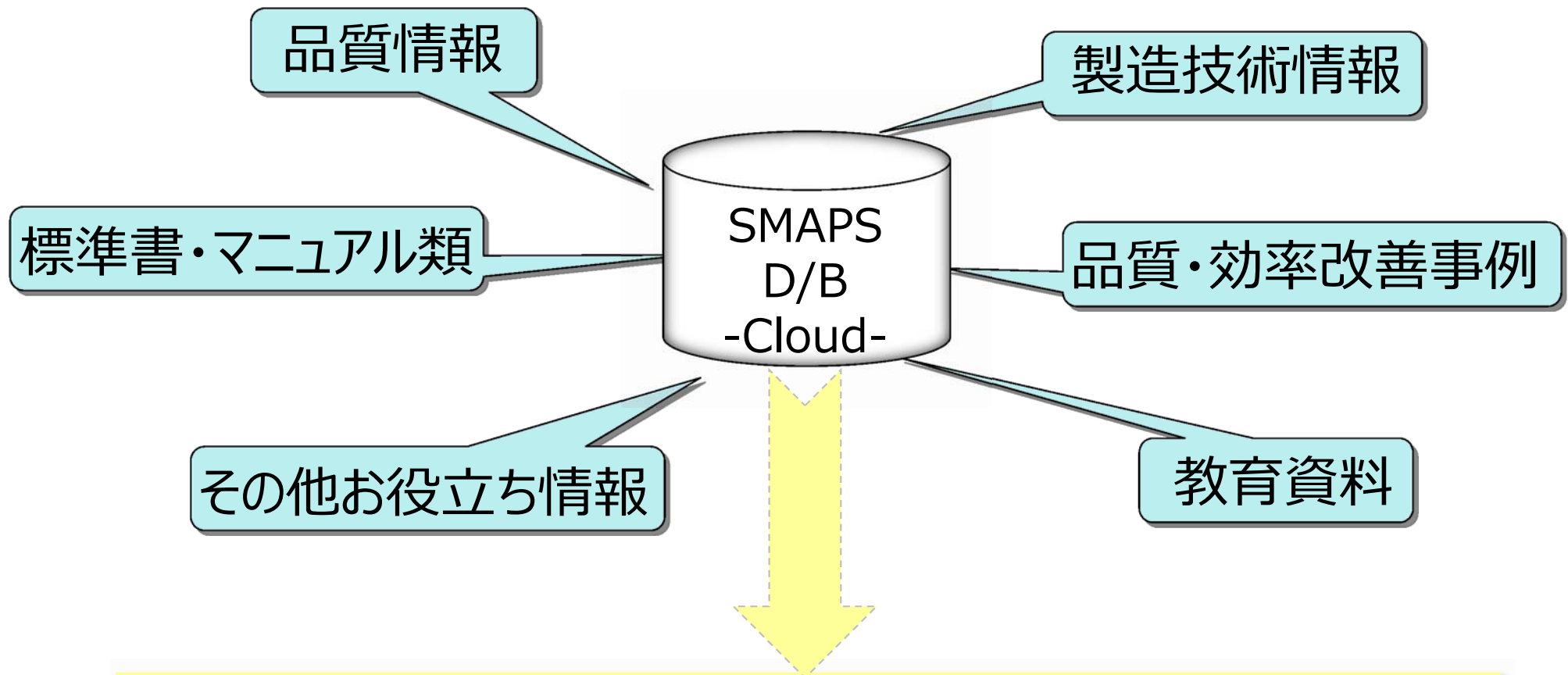
SEP
フィリピン

SCP
フィリピン

SMAPS

SMAPS (Siix Manufacturing Platform System)

2018年より本格稼働



製造技術情報を現場でReal Timeに活用する仕組みづくり

品質・技術・教育 横串強化

毎年 年2回（1月・7月）の**全社グローバル製造会議**



2019.1 大阪にて開催

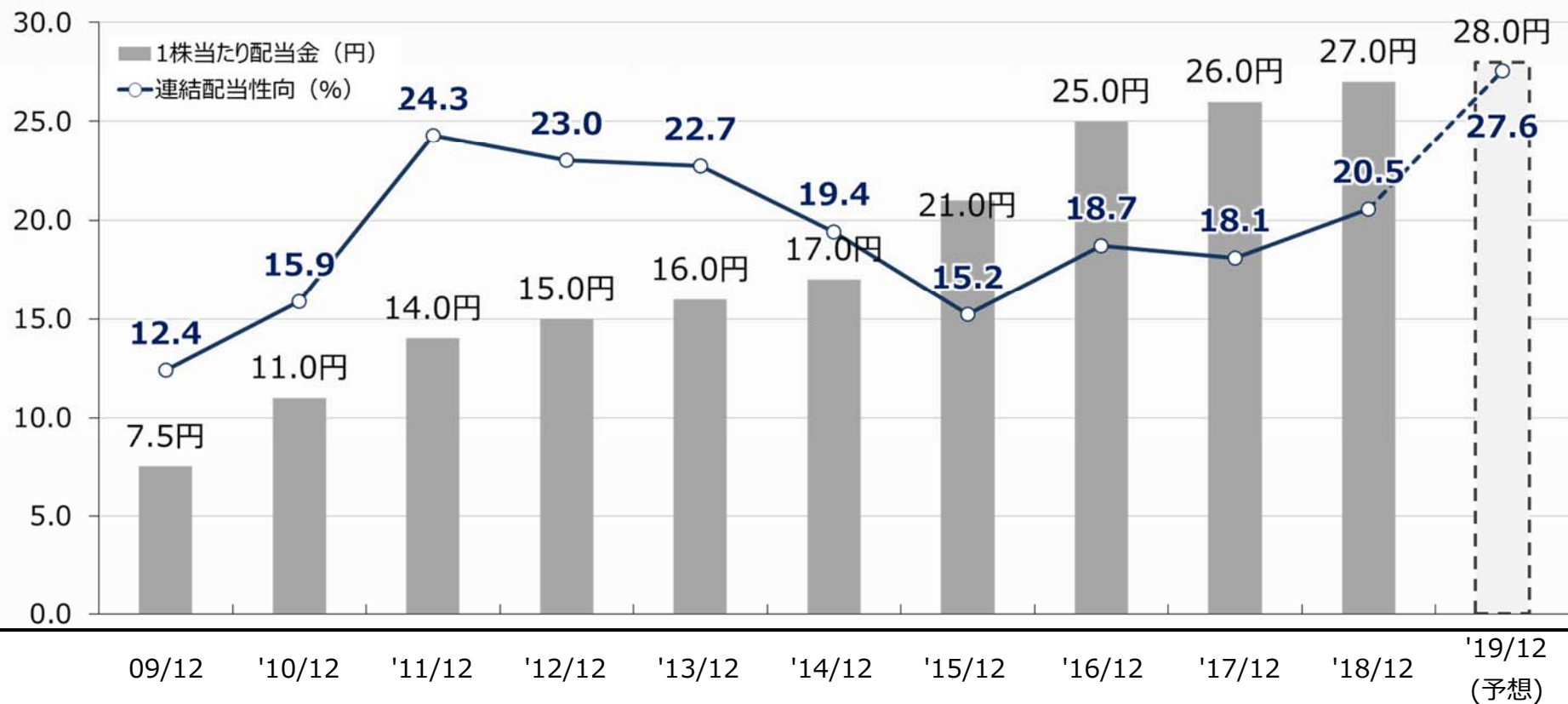


2019.7 フィリピンにて開催
(開催拠点は海外工場中心に)

- 各拠点の製造・技術関連Top、ローカルTopが一堂に会し、品質方針・状況、製造技術、工程改善、自動化、教育向上などの横串情報展開、工場見学及びフリーディスカッションなどを実施。
- 各拠点⇔技術統括部 間で現場監査、毎月定例品質会議などを通じ、ローカル力の向上を図っている。

株主還元

配当の状況



1株当たり配当金 (円)	7.5	11.0	14.0	15.0	16.0	17.0	21.0	25.0	26.0	27.0	28.0
--------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

連結配当性向 (%)	12.4	15.9	24.3	23.0	22.7	19.4	15.2	18.7	18.1	20.5	27.6
------------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

自己株式取得	100万株	-	-	-	-	-	-	508,900株	-	203万株	-
自己株式取得金額	4.0億円	-	-	-	-	-	-	約20億円	-	約40億円	-

※記念配当1円含

ESG, SDGsに関する取組

ESG, SDGsに関する取組



• ESG

E 改正RoHS(RoHS2)指令への対応

シークスグローバル拠点の完了率

2019年2月時点 **96.1%** → **2019年7月 99.5%**

業界のトップランナーとして、いち早くRoHS2への対応をほぼ完了した。
今後TCFDを参考に次のKPIの策定を急ぐ。

S ローカルマネジメント比率

2017年9月 **61.5%** → 2018年9月 **59.7%** → **2020年までに80%を目指す**

女性幹部比率

2017年9月 **42.4%** → 2018年9月 **41.3%** → **2020年までに50%を目指す**

調査は毎年9月に実施、データ確定後数値を更新する。
その他、女性の執行役員が誕生、また女性の海外駐在員数も6名と増加し、今後も積極的に登用する

* 幹部 = マネージャー + アシスタントマネージャー

* マネージャー層に限定すれば、女性比率35.4%から38.5%へと上昇している

G 管理機能強化

管理強化の観点から管理部門の取締役2名を選任した。

グループ規程の形骸化を防ぐため、本社への申請事項の見直しや各国での贈収賄に関する法律の相違点の理解し、グループベースでの共通の考え方を更新、各地への啓蒙活動を強化する

ESG,SDGsに関する取組

● SDGs(事業活動を通じた課題の解決)

<p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>タイ工場、フィリピン工場で献血活動</p>
<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>EVビジネスの強化 LED照明用基板 チェーンソーエンジン電動化</p>
<p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>インドネシア工場電灯のLED化 →クリーンエネルギーの活用促進</p>
<p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<p>セカンドハーベストジャパンへの食品提供 →食品ロスを減少させる</p>
<p>14 海の豊かさを守ろう</p>	<p>環境にやさしいリターナブル素材を活用したストローやカトラリーの拡販 →海洋資源の保全</p>
<p>15 陸の豊かさも守ろう</p>	<p>フィリピン地区で棚田保護のためのカラーランイベント参加 タイ地区でマングローブの森の保護活動 上海で植樹活動</p>

今後も排気ガスの削減、省エネルギー化の促進に貢献していく

鉅田潔浄技術股份有限公司 (Ju Tian Cleantech Co., Ltd (台湾)) が販売するサトウキビの搾りカスなどを使ったストローについて、販促活動を開始
 外食、百貨店、スーパー等への働きかけを開始した



写真はJu Tian Cleantech社資料より抜粋

2019年12月期 第2四半期決算説明資料 (Appendix)



シークス株式会社

2019年8月20日

損益計算書（連結）

(単位：百万円)	FY2017	FY2018	FY2019	FY2017	FY2018
	上期	上期	上期	通期	通期
売上高	111,790	119,928	113,743	233,153	242,804
営業利益	4,723	4,379	3,123	9,705	8,625
営業利益率 (%)	4.2	3.7	2.7	4.2	3.6
経常利益	5,043	4,595	3,202	10,513	8,717
経常利益率 (%)	4.5	3.8	2.8	4.5	3.6
親会社株主に帰属する 四半期/当期純利益	3,519	3,463	2,234	7,093	6,414
親会社株主に帰属する 四半期/当期純利益率(%)	3.1	2.9	2.0	3.0	2.6
連結子会社数 (社)	19	22	22	19	22
持分法適用数 (社)	1	2	2	1	2
従業員数 (人)	12,213	12,649	13,551	11,659	13,632

主な経営指標等 (連結)

		FY2017	FY2018	FY2019	FY2017	FY2018
		上期	上期	上期	通期	通期
自己資本当期純利益率	(%)	-	-	-	13.1	11.4
総資産経常利益率	(%)	-	-	-	8.8	6.5
総資本回転率	(回)	1.0	0.9	0.8	1.9	1.8
純有利子負債対純資産比率	(%)	13.5	24.1	48.5	15.6	36.1
流動比率	(%)	164.1	166.2	159.4	170.6	159.6
売上債権回転日数	(日)	70.0	70.8	62.3	69.7	64.7
棚卸資産回転日数	(日)	48.3	57.0	70.9	49.3	59.5
株価純資産倍率	(倍)	2.1	2.1	1.1	2.1	1.2
株価収益率	(倍)	-	-	-	16.8	10.9

資本構成（連結）

	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018	FY2019 上期
(単位：百万円)					
総資産	109,957	109,695	130,526	137,350	138,893
負債	60,217	58,121	72,916	81,334	82,570
うち有利子負債	12,614	11,458	19,553	32,969	36,102
純資産	49,739	51,573	57,609	56,016	56,323
自己資本比率（％）	45.1	46.8	43.9	40.5	40.3
期末株価（円）※	1,870	1,973	2,418	1,430	1,272
時価ベースの自己資本比率（％）	85.5	88.6	91.3	49.2	43.3
発行済株式総数（千株）※	50,400	50,400	50,400	50,400	50,400
1株当たり純資産金額（円）※	986.35	1,042.20	1,162.33	1,178.04	1,185.29

品種別売上高（連結）

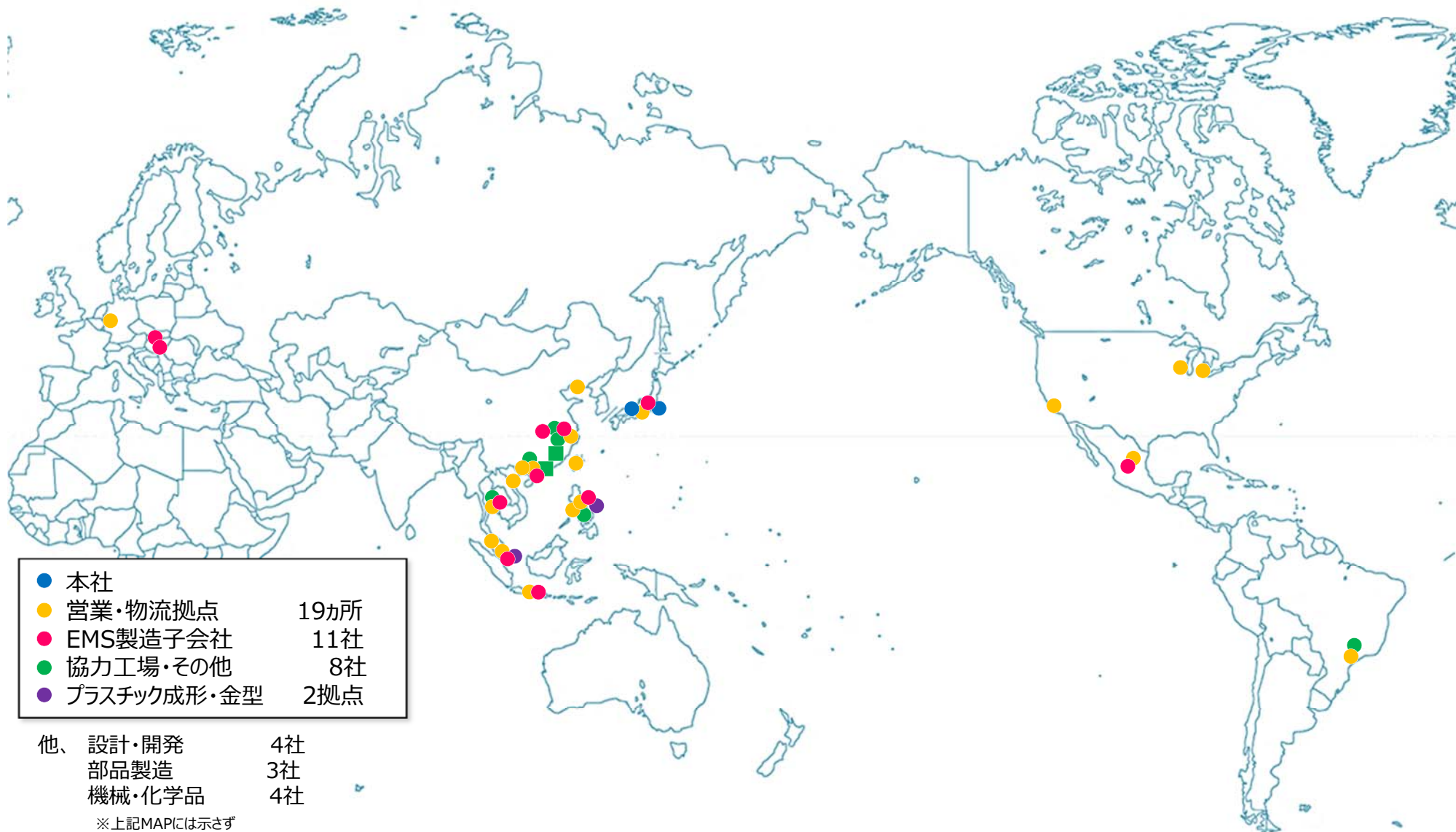
(単位：百万円, %)	FY2017	FY2018	FY2019	FY2017		FY2018	
	上期	上期	上期	通期	%	通期	%
車載関連機器	54,630	66,192	56,358	119,488	51.2	130,996	54.0
産業機器	18,610	19,671	18,733	38,719	16.6	38,017	15.7
家電機器	19,917	18,143	20,035	38,737	16.6	39,366	16.2
情報機器	10,616	9,911	12,399	20,686	8.9	21,397	8.8
一般電子	3,182	1,841	1,058	6,050	2.6	3,429	1.4
機械／その他	4,835	4,170	5,159	9,475	4.1	9,600	4.0
合計	111,790	119,928	113,744	233,153	100.0	242,804	100.0

アプリケーション別取扱製品例

車載関連機器	カーマルチメディア、車載電装品(メーター、エクステリア、ECU、サンルーフ、パワーウィンドウ、スイッチ、ABS、カメラ、ヒートコントローラー、オーバーヘッドコンソール、ドアハンドル、ミリ波レーダー、アンテナ、バッテリーセンサー etc.)
産業機器	パワーツール用エンジン点火装置、バッテリーパッキング、航空機内電子機器、電動工具、インバーター、自販機用貨幣選別機、医療機器、スマートメーター、工業用マシン、セキュリティ関連、家畜管理タグ、業務用エアコン etc.
家電機器	デジタル家電、エアコン、冷蔵庫、洗濯機、知育玩具、炊飯器、電子レンジ、電動歯ブラシ、健康器具、LED 照明、電子楽器、電子錠 etc.
情報機器	PC周辺機器、OA機器、イメージスキャナ、プロジェクター、プリンター etc.
機械・その他 一般電子	自動車用ワイヤーハーネス、オートバイ、インク、その他電子部品 etc.

GLOBAL NETWORK

(2019年6月末現在)



GLOBAL NETWORK

製造拠点

(2019年6月末現在)



工場概要凡例

- ・建物延床面積
- ・従業員数
- ・主要生産品目
- ・ISO取得状況

GLOBAL NETWORK

・ 協力工場・その他

(2019年6月末現在)

